

イチョウの街路樹の、爽やかな新緑が眩しい季節ですね。

先日、家の西側の窓下に、いつの間にか根付いていたヤツデの葉を見て思わず息を吞んでしまいました。

その新芽と若葉の何と瑞々しい色彩と耀き！ 生まれたての自然の息吹がすぐ近くに感じられ、フーと心休まる朝のひと時でした。

『母乳の効用 指針を改定』

赤ちゃんの、授乳や離乳食に関する国の指針が、この春 12年ぶりに改定されました。

その指針とは「授乳・離乳の支援ガイド」。厚生労働省が、妊産婦や助産師、保健師などに向け赤ちゃんの授乳や離乳の進め方などをまとめたものです。



気になる大きな違いは、

☆旧指針では、子どものアレルギー予防のためには、母親が妊娠中から授乳期にかけ、必要以上に牛乳や卵を摂らない方が良いとされていたが新指針では、母乳には実は、アレルギーリスクを抑える効果が有るとはいえず、妊娠中や授乳中の母親が特定の食物を制限する必要は無い、と明記された。

☆離乳についても、アレルギーを心配して、赤ちゃんに特定の食べ物を与えない、又は摂取を遅らせる等しても、予防できる科学的根拠は無いとし、離乳初期の5~6ヶ月から、卵黄を与えてみることも推奨している。



特定の食物と、赤ちゃんのアレルギー発症のリスクが、永く知られていただけに、指針改定後の内容に少々戸惑っていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。

不安に思われる方は、健診の時などに是非、保健師さん等に伺ってみましょう！！